

あかほつ山



Vol. 113
2026 年
2月 15 日発行

発行元
特別養護老人ホーム カントリービラ青梅
(住所) 青梅市長淵 1 丁目 930 番地 3
(電話) 0428(23)6233 <9:00~17:00
(Fax) 0428(24)7047
(URL) <https://country-villa.com/>



ごあいさつ

立春も過ぎましたが、まだ寒い日が続いております。それでも冷たい風の中でも日差しの暖かさには確かに春の訪れを感じる今日この頃です。（「梅こぶし桜山吹木瓜すみれ三つ葉青葉で春は駆け足」）。さて2月は節分など、季節の移り変わりを感じられる行事もあり、心が少し明るくなる時期です。当施設では、日々のふれあいや季節の行事を大切にしながら、お客様が安心して穏やかにお過ごしいただけるよう努めています。

イベント

1/24(土)は下長渕囃子連の方々が来所され、お客様へ獅子舞を披露して頂きました。迫力のある動きに圧巻でした！邪気も払い、疫病退散もできたので、今年も元気に過ごせることを願います。下長渕囃子連の方々ありがとうございました！



1/31(土)友田小学校に手工芸クラブと書道クラブで作成した作品の展示が行われました！

手工芸クラブの作品は、1月に作成した雪だるまの飾り（いろいろな表情の雪だるまがあります！）、10月に作成したハロウィンの飾りが展示されました。



2/3 には節分が行われました！赤鬼と緑鬼が現れたのでお手玉をぶつけ邪気を払いました！



クラブ・レク 生け花クラブ



活け花クラブです。可愛らしく生けている作品からシンプルでカッコイイ作品まで、いろいろな方の作品を見ることが出来て新鮮です！

書道クラブ



お正月らしい字を書いていただきました。「正月」「迎春」「一月」…「ねる」。寝正月ということでしょうか…。

「紙芝居・甘酒」

獅子舞の格好をした看護職員による紙芝居が行われました。内容は、お正月にちなんだ内容になっています。皆様、真剣に紙芝居を見ています。紙芝居の後は、甘酒を皆様で楽しまれています。甘酒はアルコールを飛ばして作成し、「もう一杯頂戴」とおかわりしている方もいました。



施設長より

「引き売り」という言葉ご存じですか？古くは荷車での移動販売だったそうですが、私が子供の頃（昭和30年代）はライトバンの荷台部分を改装して、移動スーパーのような商売をしていたのを覚えています。今でも山間部では地域住民にとってなくてはならない存在となっていますが、どこか懐かしさを感じる風景もあります。しかし昨今では事情が異なってきておりスーパーとコンビニエンスストアがこの引き売り形式に乗り出しています。当地（青梅市）でも、「株式会社とくし丸」が「いなげや」と提携し、軽貨物車を改造した「とくし丸」を運行し始めました。実際に街角で買い物客を集めている場面を見かけることがあります。また、あのセブンイレブンがとくし丸同様に軽貨物車を改造し引き売りを行っており、東京での第1号車が施設の近所のセブンイレブンで運行するとのことです。これらのキーワードになるのが「買い物難民」です。「第9期事業計画策定基礎調査結果報告書」を見ますと、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が40.0%、「1人暮らし」19.3%と、ほぼ60%の高齢者が単身または老夫婦世帯で生活していて、そのうち「15分位続けて歩いていますか」の問い合わせに「できるけどしていない」（14.0%）、「できない」（7.4%）と約21%の方が「歩くこと」だけにも困難さを抱えていることがわかります。一方、業者の方でもネットスーパーなど携帯一つあれば食料や生活必需品を配送するメニューを提供してはいますが、なかなか高齢者世帯のニーズに応えているかというと難しいところもあります。そこで登場するのが「引き売り」です。実際に商品を目で見て選んだり、その場でのコミュニケーションなど、単なる配送だけでは味わえない楽しさもきっとそこにはあるのでしょうか。今後どう成長していくのかはわかりませんが、一度試してみたいとは思っています。

